



平成 29 年 7 月 14 日
海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：村上、西村、林、田中)

参加者募集

ジンベエザメに海のことを聞いてみよう！

～海と日本プロジェクト～

海遊館×北海道大学大学院水産科学研究所のシンポジウム

海遊館（大阪市港区）では、平成 29 年 8 月 6 日（日）に、北海道大学大学院水産科学研究所と共催で、シンポジウム「ジンベエザメに海のことを聞いてみよう！～海と日本 PROJECT～」を開催します。サメ研究の第一人者をはじめ、各分野の最前線でご活躍の 3 名の研究者をお招きし、最新のジンベエザメ研究について 3 つのテーマでお話していただきます。内容は高校生以上を対象としており、メールで先着順に 200 名を募集します。尚、参加者には記念品の「ジンベエザメグッズ」をプレゼントします。

■最新のジンベエザメ研究、3 つのテーマと講師

1. 「サメの仲間とジンベエザメ～その姿と暮らし～」 仲谷 一宏 先生（北海道大学名誉教授）
ジンベエザメを中心にしたサメの体の特徴と食事法をお話しします
2. 「バイオリギングでジンベエザメを追う」 宮下 和士 先生（北海道大学教授）
バイオリギングの紹介とジンベエザメのバイオリギング調査についての紹介をします
3. 「DNA で見るジンベエザメと私たちの関わり」 工樂 樹洋 先生（理化学研究所 ユニットリーダー）
最先端の DNA 研究を通して、私たちとジンベエザメの間で、何が同じで何が違うのか紹介します

■ 進行役 西田 清徳（海遊館 館長）

サメのことならなんでもこいの仲谷先生には、企画展「顔博」で展示中のメガマウスザメの解剖実習でお世話になりました。また、宮下先生と一緒にジンベエザメの旅路を探る共同研究は、興味深い調査データが蓄積されてきました。さらに、工樂先生の DNA に隠されたジンベエザメの秘密では、どんな事実が明らかにされるのでしょうか！？私もわくわくしています！

■シンポジウム開催概要

日 時：2017年8月6日（日）10：00～12：45（予定） ※受付開始は9：30～

場 所：海遊館ホール

募集人数：200名

料 金：無料 ※海遊館の入館には別途、入館料が必要です

応募方法：以下の内容を記載して、メールでご応募ください。応募アドレス：jinbee_sympo@kaiyukan.com

1)代表者の氏名（ふりがな）、年齢、学年

2)代表者の郵便番号、住所

3)連絡のつきやすい電話番号

4)参加者全員（5名まで）の氏名（ふりがな）、年齢

問 合 先：海遊館インフォメーション 06-6576-5501（9:30～17:00）

そ の 他：本シンポジウムは、海と日本 PROJECT の一環で実施しています



■研究者プロフィール

仲谷 一宏 先生

北海道大学名誉教授。水産学博士。気仙沼シャークミュージアム名誉館長。

北海道大学大学院時代から、軟骨魚類、とくにサメ類の系統分類学、機能形態学などを研究中。著書に「サメ-海の王者たち-」「さめ先生が教えるサメのひみつ10」「世界の美しいサメ図鑑」など。「さめ先生のサメの歌」として、ジンベエザメやメガマウスザメなどの歌13曲を創作、ユーチューブ上で公開中。



宮下 和士 先生

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター教授。東京大学博士課程修了。農学博士。水中の観察技術の開発や、開発した技術を使った水中生物の生態研究などに従事。特に魚群探知機に関する研究については世界をリードする研究者である。また近年はバイオリギングに注目したプロジェクトを立ち上げ、これまでにない機器を開発、応用することに力を注いでいる。海遊館とはジンベエザメの回遊について共同で研究を実施中。



工樂 樹洋 先生

理化学研究所 分子配列比較解析ユニット ユニットリーダー。

分子進化に関わる独自の研究を行っています。遺伝子発現とそのエピジェネティック制御に関する大規模解析などを、実験サンプルを評価する研究者とバイオインフォマティクススタッフを共存させるという稀有なスタッフ構成でシームレスに進めています。複数の非モデル生物の国際ゲノムプロジェクトに参画した実績をベースに、ヒトライフサイエンスにつなげるべく、分子配列情報の種間比較リテラシーに基づく解析支援および独自の研究開発も進めています。

